

たまかわ

2000

10

No.410

空と緑`新、呼吸する——広報TAMAKAWA

(玉川村ホームページ) <http://www.tamakawa.net6.or.jp>

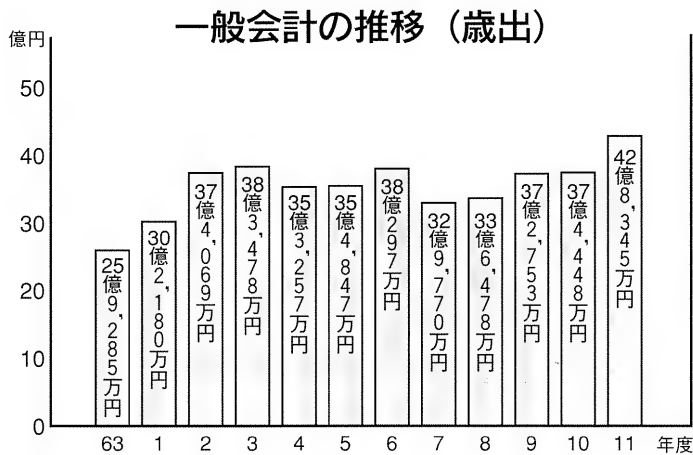


カネばあちゃん、100歳おめでとう

一般会計決算報告

平成11年度の一般会計と6つの特別会計、事業会計は、9月定例議会において認定されました。

一般会計の決算額は、歳入総額45億3,623万円、歳出総額42億8,345万円となりました。平成10年度決算額と比較すると歳入が15.6%、歳出が14.4%とどちらも伸びております。
 私たちが納めた税金がどのように使われたかを見てみましょう。



歳出

前年度と比較すると、5億3,897万円の増加となりました。

主なものを前年度と比較すると衛生費は、7.2%の減となりました。これは、簡易水道特別会計への繰出金が減ったためです。

農林水産業費も前年度に比べて、7.8%の減となっております。これは、農業集落排水特別会計への繰出金及び県単林道開設事業の事業費等が減ったものであります。

また、増えたものとしては、土木費が、26.2%の増加と

歳入

前年度と比較すると約6億1,197万円の増加となりました。

村税は、歳入全体の16.5%を含めており、地方交付税以外では、中心的な財源です。前年に比べて、5,389万円の増となっており、これは、村民税及び固定資産税が伸びたためです。

地方消費税交付金は、前年に比べて、377万円、5.4%の減となりました。

繰入金も、前年に比べて、9,393万円、32.5%の減となりました。これは、財政調整積立金・ふるさと創生基金等の減によるものです。

大幅に増えたものは、国庫支出金です。前年に比べて、80.3%の増となっており、これは、玉一小規模改造事業補助金等の増加によるものです。

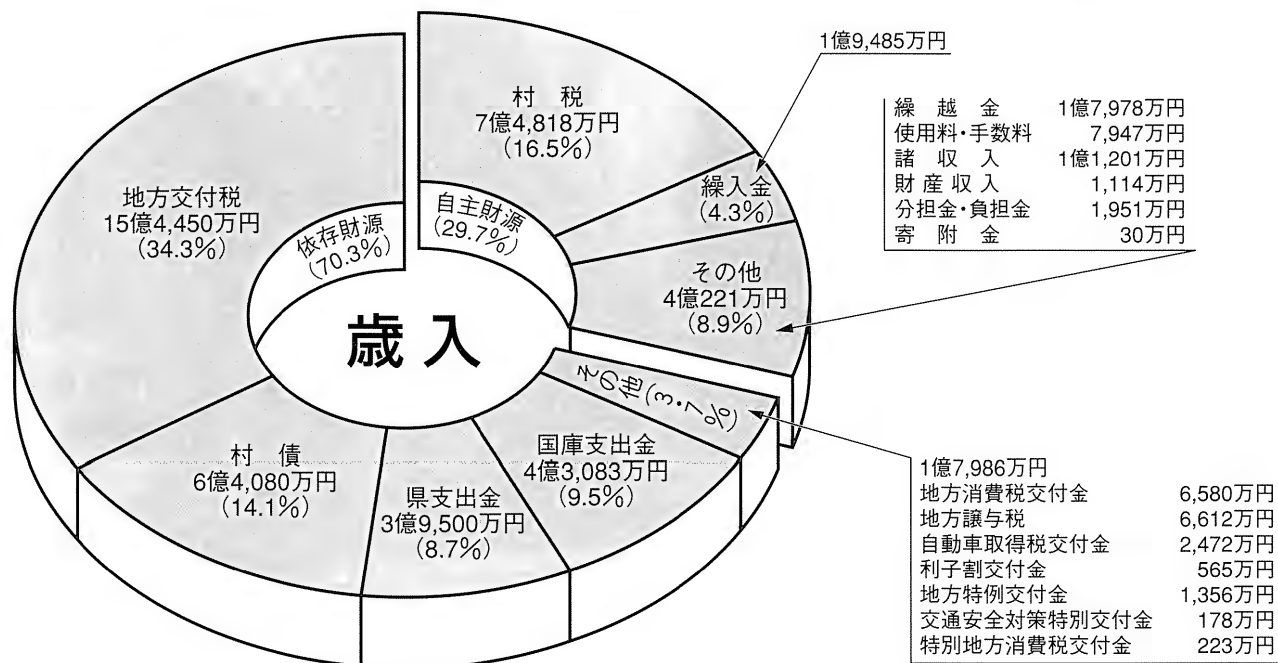
なりました。これは、地方特定道路整備事業、緊急地方道路整備事業等が増えたことによるものです。

教育費は、前年度に比べ、137.1%と大幅な増となりました。これは、玉一小の大規模改造事業等によるものです。

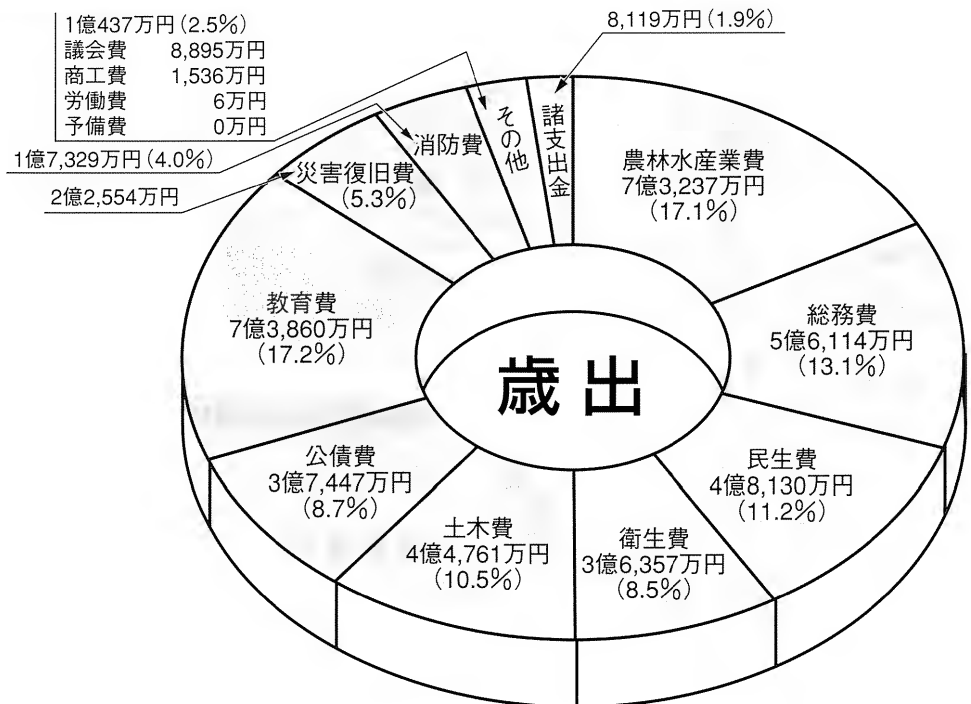
村民一人当たり約55万円を使う

平成12年3月31日現在の人口は、7,799人で、一般会計の歳出総額42億8,345万円を割り算してみると、住民1人当たり55万円が使われたこととなります。

一方、村民税を同じく人口で割った場合、村民1人当たりの納めた税金は、9万5,933円になります。



歳入合計 45億3,623万円



歳出合計 42億8,345万円

お元気です

90才以上の長寿39名 村から記念品贈呈

玉川村の90歳以上(平成12年9月15日現在)のお年寄り39名です。

昨年の90歳以上の長寿者は42名でしたので、今年は昨年より3名減となりました。

男女別の内訳は、男性が9名、女性が30名と女性の数が大きく上回っております。

村では、90歳以上の長寿をお祝いして、9月8日と11日の2日間に渡り各家庭を回り、直接記念品を手渡しました。

村内一は大越サタさん(101歳)南須釜字花見堂75-11、



大越サタさん

大越利男さんの祖母)です。サタさんは今年6月に10歳の誕生日を向かえ益々元気に日常を過ごしているとのこと。

二番目は、車田カネさん(99歳)小高字池ノ入34、車田昭五さんの母)です。カネさんは今年9月22日に満100歳となりました。カネさんの長生きの秘訣は、気をもまないのと、くよくよしないことだそうです。

なお、95歳以上99歳までの方々は、小林フミさん(95歳)竜崎字糺屋15-2、小林



車田カネさん

森男さんの母)、小針イシさん(96歳)川辺字和尚平177、小針石男さんの母)、白旗キミさん(96歳)川辺字和尚平220、白旗保雄さんの祖母)、榊枝スエさん(97歳)南須釜字青井沢202、榊枝雅さんの祖母)の4名の方がおられます。



榊枝スエさん



白旗キミさん

90歳以上の長寿者

(年齢は平成12年9月30日現在)

東					西				
関脇	関脇	大関	横綱		横綱	大関	関脇	関脇	
石森常次郎	白旗キミ	榊枝スエ	大越サタ		車田カネ	小針イシ	小林フミ	三輪貞夫	
94	96	97	101		100	96	95	94	
山小屋	川辺	南須釜	南須釜		小高	川辺	竜崎	小高	
小結	小結	関脇	関脇		関脇	関脇	小結		
佐久間ケサ	佐藤セイ	石井トシ	塩澤経雄		近内スキ	大越スイ	草野ハル		
93	93	93	94		93	93	93		
岩法寺	竜崎	小高	南須釜		吉	南須釜	南須釜		
前頭	前頭	前頭	前頭	前頭	前頭	前頭	前頭	前頭	前頭
吉田吉治	鈴木キヨ	小林ヒサミ	榊枝カツヨ	塩田キクエ	矢部スサ	西館コト	柳沼トク	増子ヨシ	吉田マツ
91	91	92	92	92	92	92	92	91	91
岩法寺	川辺	竜崎	北須釜	南須釜	川辺	北須釜	竜崎	南須釜	川辺
前頭	前頭	前頭	前頭	前頭	前頭	前頭	前頭	前頭	
関根ノイ	須藤ツナ	野崎キク	大竹正雄	貞吉友英	矢吹覺治	矢吹キクヨ	草野イネヨ	車田ハルノ	有賀清
90	90	90	90	91	91	90	90	90	90
藤生	川辺	川辺	岩法寺	藤生	北須釜	小高	山小屋	小高	

村内639名の長寿を祝う

村民体育館で敬老会

平成12年度の敬老会は、9月15日の敬老の日村民体育館で行われ、満75歳以上のお年寄り639名の長寿を祝いました。村内各所から、村がチャーターしたバスで、出迎えた招待者は、敬老会に臨んだと村内の各婦人会支部の皆さんによるアトラクションの踊りを楽しんだり、日頃会えない知人たちと交流を深めていました。



婦人会のみなさんの踊り

敬老会終了後にお年寄りの皆さんが楽しみにしていた踊りが行われました。婦人会主催による踊りは、

石井佳子さん(小高)と草野ミサ子さん(山小屋)が司会を担当して、各婦人会支部から踊りが披露されました。地元の婦人会の踊りが始まると、お年寄りの皆さんが舞台に近づいて、「おひねり」が上がりました。

また、上野アサさん(竜崎)や大木トミヨさん(中)たちは、飛び入りで歌や踊りを披露してくれました。

88歳等に特別記念品贈呈

敬老会は、午前10時開会し、車田村長から式辞が述べられました。

続いて、満88歳になられた14名の方々に、特別記念品が村長から手渡され、また満80歳を迎えられたご夫婦12組の方々にも村長からお祝いとして、「夫婦座布団」が贈られました。

大野雅人県議会議員と西川村議会議長からそれぞれ祝辞が述べられた後、高齢者代表の野口庄一さん(北須釜)が



夫婦座布団等が贈られたみなさん

「長寿をお祝いして頂きありがとうございます。人生経験を生かして、社会に貢献して参りたいと思います。」と謝辞が述べられ閉会しました。

中体連石川地区 新人総合体育大会が行われる

新人総合体育大会は、9月26日に、石川町をメイン会場に10種目に熱戦を繰り広げられました。結果は、次のとおりです。

- 野球 3位 須釜中
- ソフトボール 2位 泉中
- バレーボール女子 3位 泉中
- 卓球団体男子 2位 泉中
- 男子個人シングルス 1位 須釜中
- 男子個人ダブルス 3位 宗形勝洋(須釜中)
- 男子個人ダブルス 3位 宗形翔・大木大輔(須釜中)
- 女子個人シングルス 3位 塩澤美帆(須釜中)
- 女子個人ダブルス 1位 関
- 根友理恵・真野目瞳(須釜中)
- 3位 大竹歩・角田聡美(泉中)
- 石森聖子・寺島真由美(須釜中)
- 剣道男子団体 2位 泉中
- 女子団体 1位 泉中
- 男子個人3位 小針匠(泉中)
- 女子個人1位 藤田淳子(泉中)
- 3位 曲山恵(泉中)
- 柔道男子73kg級 3位 矢吹幸(泉中)・溝井裕史(泉中)
- 女子団体 2位 泉中
- 52kg級2位 西牧佑加(泉中)
- 3位 小針良恵(泉中)
- 70kg級1位 佐藤愛子(泉中)

車田カネさん

百歳賀寿が贈られる



車田村長と車田カネさん

小高字池ノ入34 車田昭五さん(70歳)の母車田カネさんが9月22日に百歳の誕生日を迎え、自宅で百歳賀寿の贈呈が行われました。福島県からは県中社会福祉事務所の川島一雄所長が出席してカネさんに佐藤栄佐久知事からの賀寿と銀杯、知事直筆のお祝いの書が手渡されました。村からは、車田村長が賀寿と特別



銀杯と佐藤知事直筆のお祝いの書

祝金を、そのほかに、村老人クラブ連合会長、地元小高老人クラブ会長、小高区長からそれぞれお祝いの記念品が贈られました。

曾孫の車田三枝子さんからカネさんに花束

賀寿贈呈式には、カネさんの子供、孫、曾孫から玄孫まで集まり、カネさんの百歳の誕生日を祝いました。

曾孫の車田三枝子さんが家族を代表して花束を贈りました。

カネさんは、贈呈式に出席した関係者を前に自慢の喉を披露し、皆さんから拍手喝采を受けました。最後に、家族を代表して、カネさんの次男車田昭五さんが御礼の言葉を述べました。

第二回福島空港健康マラソン大会

黄金色の田園の中を走る

福島空港健康マラソン大会は、10月1日福島空港公園をスタート・ゴールに、2kmから10kmまでの16部門で行われ、県内外の子供から大人まで約1千127人のランナーが参加し秋空の下健脚を競いました。また、特別招待選手の深尾真美さんが10km一般の部に参加いたしました。

最高齢者は、白河市の渡部さんと小林さん

大会は、午前9時から同公園において、開会式が行われ大会会長の車田次夫会長が歓迎のあいさつを述べました。

また、西川村議会議長が祝辞を述べたあと、招待選手の深尾真美さんが紹介されました。参加選手を代表して選手宣誓は、ふくしま駅伝チームの曲山和樹君(泉中)、佐久間優子さん(須釜中)の二人が行い競技に入りました。

コースは、昨年と同じコースで行われ、今大会の最高齢者(82歳)は白河市の渡部義朝さんと小林良吉さんの二人で、5kmを完走しました。また、女子では、昨年最高齢者で参



刈り入れ間近かの田園の中を走るランナー



小林さんの家族

加した、いわき市の鈴木シズエさん(70歳)が今年も参加しました。

竜崎の小林さん家族で完走

小林正与さん(竜崎)の家族6名は、各部門に参加し全員完走しました。同大会の参加は、「子供たちが走るのなら家族で走ろう」ということになり一ヶ月前か

車田カネさんのデータファイル

出生

明治33年9月22日生まれ。石川郡泉村大字岩法寺字竹ノ内107番地にて父須釜嘉三郎氏・母ヒサとの間に生まれました。

健康の状態

年相応の視力で、少し大きめの声で話せば聞こえ、会話は普通で、少し足腰に衰えがあるものの、日常生活には影響は無く、きわめて健康であります。

経歴

明治40年4月に小高尋常小学校竜崎分校に入学し、2年間位通学し以後、農業や家事手伝いに従事、大正9年12月に車田繁蔵氏と婚

趣味

入浴が好きで毎日入っています。

また、薬草を毎日欠かさず飲み、特にどくだみやトウヤクを煎じて飲んでいました。以前は自分で薬草を採取して飲んでいました。

好物

何でも好きですが特に甘いものが好きで、もちも好物です。

テレビ

時代劇で水戸黄門や暴れん坊將軍などを見る。相撲も好きです。

長生きの秘訣

気をもまないこと。くよくよしないこと。薬草を煎じてお茶代わりに飲むこと。



豚汁をふるまうよつばの会のみなさん

ら練習をしてきたそうです。「しかし大会は、練習とはちがうな」と小林さんの一言。

ボランティアが活躍

大会の裏方として、競技スタッフなどに373名がボランティアとして協力しました。

給水ポイントでは、係員が選手に声援を送り、完走した選手には、「よつばの会」で温かい豚汁を振舞い好評でした。

各部門別優勝者

(総合)

- 第1部・太田 正寿・さつき (穂積小)
- 第2部・横松 優 (矢板マラソンクラブ)
- 第3部・近藤彩乃(浅川小)
- 第4部・山河一生 (須賀川第二小)

各部門別優勝者

(村民の部)

- 第1部・小針周吉・静(中)
- 第2部・車田圭爵(小高)
- 第3部・三輪葉月(小高)
- 第4部・添田雄剛(小高)
- 第5部・塩沢千穂(岩法寺)
- 第6部・星 英美(南須釜)
- 第7部・緑川聡美(玉一小職員)
- 第9部・曲山 和樹(蒜生)
- 第10部・塩田亜由美(四辻新田)
- 第11部・清水紳一朗(泉中職員)
- 第12部・矢吹政克(川辺)
- 第13部・近内正雄(吉)
- 第15部・小針正光(北須釜)

トピックス IN たまかわ

—みなさんからの話題を
おまちしています—

役場総務課広報広聴係まで

東京玉川会 大島彰コンサート

東京玉川会(大木吉孝会長)では、未来の玉川村を担う中学生の皆さんの、心身共に健全な成長を願い、文化活動の支援として、大島彰コンサートを企画し、この度泉中学校体育館で開催しました。
コンサートは、泉・須釜両中学校の生徒や保護者の方々に前



コンサートの様子

に、約20曲の電子オルガン演奏を行い、曲が終わるたびに、温かい拍手が送られていました。

小高江平地区 遺跡の現地説明会

福島県教育委員会は、あぶくま高原道路建設に関わる埋蔵文化財の保護に努め、平成9年度から予定地内で現状保存の困難な遺跡について、発掘調査を委託し、昨年度から調査を進めてきた江平遺跡の現地説明会が行われました。
現地説明会には、村内外から約300名の見学者が訪れました。
説明会は、3班に分かれ説明され、内容は、江平遺跡は旧石器時代〜中世にわたる遺跡で、

多くの貴重な発見があり、特に奈良・平安時代にかけては当地域の中心的な集落であったと考えられます。
また、湿地につくられた縄文時代の貯蔵穴は、福島県では初めての発見で、古墳時代の住居域と古墳がつくられている墓域が、明瞭な分布の違いをもって発見されています。
更に、発見された木簡「続日本記」に記載された天平15年の読経を、全国で初めて考古学的に証明したとのことでした。



江平遺跡の現地説明会

第5回ふなびつかわ2000 夢フェスタ玉川開催

ふるさとといしかわ夢フェスタは、会場が石川郡の町村輪番制で開催され、今年は玉川村が会場となり、ポトビア玉川とこぶしの里センターを中心に行われました。当日は好天に恵まれ、会場は、歌や踊りなど多彩な催しが行われ、大勢の観客で賑わいました。また、伝統の技を学ぼうコーナーでは、竹細工で、猪原光さんと関根米二さん、わら細工は、小林隆次さんと小山



夢フェスタの様子

田義三さんが指導し、そば打ちでは、昔そばの会や愛好会のみなさんが指導して大好評でした。

東京精工(株)から 図書券が贈呈

東京精工株式会社(柏木典雄社長)から図書券10万円分が村に寄付されました。図書券は、柏木社長が村長室を訪れて車田村長に贈りました。
同社では、平成2年の社創立20周年の際に村内の小中学校に「東京精工文庫」を設立しました。
以来、同社では毎年会社の創立記念日に図書券の寄付を村にしています。
村では、教育委員会を通じて各校の図書に充実に役立てています。



車田村長に図書券を贈る柏木社長

福島空港 空の日開催

福島空港では恒例の「空の日」記念行事が行われました。当日は、あいにくの悪天候になってしまいましたが、消防車両等の見学やヘリコプターによる救助訓練実演展示・麻薬犬訓練展示等が行われ、大勢の観客で賑わっていました。
また、村商工会による地元



テープカットをする子どもたち

産品の展示・即売や玉川村赤字奉仕団もバザー販売を行いました。



JRC委員のみなさん

泉中・JRC委員 福祉協議会に車いす贈呈

泉中学校の青少年赤十字JRC専門委員会(代表 鈴木あゆみさん)20名は、2年前に身体障害者の方々を同中学校にある空港資料館を見せたのがきっかけで、ベルマークを集め玉川村社会福祉協議会に車いすを贈ることを決めました。その後、同専門委員会では、全校生徒にベルマークの収集を呼び掛けベルマークの点数6万点が集まり、ベルマーク協会から車いすが届き、この度玉川村社会福祉協議会へ贈呈しました。

9/30 交通安全を呼び掛け

秋の交通安全運動期間中の交通安全啓発活動として須釜小学校では、全校生徒199名による鼓笛隊パレードが行われました。パレードは、学校から奥平交差点を通り大野商店まで行われ、演奏は、集落に大きくこだまして交通安全を強く呼び掛けました。
また、須釜小学校四辻分校が同日に、玉川第一小学校は26日に鼓笛隊パレードが行われました。



須釜小学校児童による鼓笛隊パレード

秋真っ盛り 四辻分校児童稲刈り

5月に植えたもち米の苗も黄金色になり、稲穂を下げた稲を刈りました。
稲刈りは、大和田宏さんの指導のもとに行われ、児童のおばあさんやお母さんの応援もあり約2時間で終了しました。このもち米は、学習発表会などで食べることになっています。



稲刈りをする四辻分校児童のみなさん

平成12年産 玉川産米が初検査

初検査された銘柄は、早稲の「ひとめぼれ」で8戸の農家から460俵が泉幹支店に集荷されました。今年の米の作況指数は好天に恵まれたために104の「やや良」でした。これからは、早場米が集荷され、「コシヒカリ」が集荷する10月上旬から中旬がピークになり玉川産米の総集荷量は、約1万俵が集荷される予定です。



～ 福島空港玉川健康マラソン大会にて ～

10月11月の健康ごよみ

- 10月
 - 25日(水) 二種混合予防接種.....須釜小 午後1時～
 - 27日(金) 3歳児健診.....保 午後1時～
 - 31日(火) 機能訓練.....保 午前10時～
- 11月
 - 1日(水) 風疹予防接種.....須 午後12時45分～
 - 2日(木) 二種混合予防接種.....川辺小 午後1時30分～
 - 7日(火) すくすくクラブ.....保 午前10時～
 - 9日(木) 風疹予防接種.....保 午後1時～
 - 14日(火) 機能訓練.....保 午前10時～
 - 15日(水) 3～4カ月児健診.....公 午後1時30分～

公：公立岩瀬病院 須：須釜公民館
保：保健センター

伝言板

第14回玉川村長杯
ゴルフコンペを開催

玉川村長杯ゴルフコンペは、次の要領で行われます。参加を希望される方は、10月28日までに村公民館にお申し込みください。

- 期 日 平成12年11月8日(水)
- 集合時間 午前7時30分(スタート午前8時)
- 場 所 福島石川カントリークラブ 東・中・西コース同時スタート
- 競技方法 18ホール・ストロークプレー スルザーグリーンオール6インチ 新ペリア方式
- 会 費 3,000円(プレー費、売店などは各自清算願います)
- 表彰式 マーヴェラス末広
- 注意事項 スタート時間30分までに受付を済ませるよう早めにご来場ください。

丹精込めて作った「お米」は
計画流通米へ出荷しましょう

「お米」は、私たち日本人の主食であり、最も大切なものです。食糧法は、農家の皆さんが生産された「お米」を消費者の方々へ、安定的にお届けする制度です。そのための第一歩は、農家の皆さんが生産された「お米」を計画流通米(自主流通米・政府米)として農協又は取扱業者(農林水産大臣に登録した取扱業者)に出荷していただくことです。

農協又は取扱業者と出荷契約した数量は
全量出荷しましょう

事前に稲作経営安定対策に加入された生産者が、自主流通米として出荷し、「お米」の価格が下落した場合は、コースによってその下落分の8割または9割が補填されますので、安心して出荷して頂けると思われます。なお、農家の皆さんが計画出荷以外へ販売する場合は、「計画外流通米」として、事前に届出を行うこととしております。「お米」の出荷及び届出等に関するお問合わせは、福島食糧事務所郡山支所(☎024-937-3980FAX024-937-3984)へ

建物付宅地を売却します

須賀川市大字滑川字北町地内の宅地及び建物を一般競争入札により売却します。
入札参加受付期間.....平成12年11月6日(月)～11月17日(金)
問合わせ先.....郡山地方広域市町村圏組合 ☎024-924-2541
土地

地 目	地 積 m ²	用途地域
宅 地	981.00	市街化調整区域

種別・構造・築年	床面積 m ²
事務所・車庫・鉄骨造鋼板葺平家建・昭和48年	194.51
便所・木造鋼板葺平家建・平成4年	3.31



野崎健太くん (川 辺) 父・豊
相楽隼人くん (南須釜) 父・良一

9月号掲載のよい歯のコンクールで名前等が誤っていましたが、お詫びの上訂正致します。

お詫びと訂正

秋季全国火災予防運動

11月9日(木)(119番の日)から11月15日(水)まで、「火をつけたあなたの責任最後まで」をスローガンに秋季全国火災予防運動が行われます。11月から寒冷期となり、火を使う機会が多くなる時期です。火の元、火の取り扱いには十分ご注意ください。また、今年は県内で住宅火災による焼死者が多く発生しています。特に犠牲者の大半が高齢者、幼児となっています。もう一度普段の火の取り扱いについて確認してください。「もしも」、「あの時」、「こうすれば」と嘆く前に、まず自分でできる火災予防に心掛けてください。

火の用心7つのポイント

- 1 家のまわりに燃えやすい物を置かない。
- 2 寝たばこやたばこの投げ捨てをしない。
- 3 天ぷらを揚げるときは、その場を離れない。
- 4 風の強いときは、たき火をしない。
- 5 子どもには、マッチやライターで遊ばせない。
- 6 電気器具は、正しく使い、たこ足配線はしない。
- 7 ストープには、燃えやすいものを近づけない。

国税だより
税を知る週間

11月11日(土)から17日(金)までは「税を知る週間」です。国や地方公共団体は、私たち国民が豊かで安定した暮らしができるように、いろいろな活動を行っています。例えば、私たちの身のまわりを見ても、社会福祉の充実、住宅や道路の整備、教育の振興など、その活動は幅広い分野にわたっています。税金は、そのための大切な財源です。税務署では、この期間中、広く国民の皆さんに税の意義や役割について理解していただけるよう、座談会の開催、納税作品の表彰式、租税教室など各種の行事を行います。この機会に、あなたも税金の仕組みや使いみちについて考えてみませんか。

石川警察署からのお知らせ

農家のみなさんへ、米の収穫もピークを迎えていることと思います。収穫した米が、盗難に遭わないように管理は十分をお願いします。

寄付ありがとうございます

下記の方々から社会福祉活動資金として寄付をいただきました。厚く御礼申し上げます。(村社会福祉協議会)

●川辺の矢部文八さんから	●小高の車田昭五さんから	●南須釜の小原政徳さんから
●川辺の鈴木和浩さんから	(百歳賀寿を記念して)	●南須釜の関谷敬一さんから
●川辺の熊田和也さんから	●竜崎の石井清徳さんから	●北須釜の榊枝徳男さんから
●中の鈴木孝一さんから	●南須釜の大野富二男さんから	●山小屋の石森チヨノさんから

村のようす
(12年10月1日現在)

- 1,815戸(-1)
- 7,619人(-2)
- 3,753人(-3)
- 3,866人(+1)

お誕生おめでとうございませす

地 区	出生児氏名	保護者名
川 辺	仁井田 そら	潤
川 辺	我妻 芽衣	正 美
川 辺	坂本 芽里	茂 明
川 辺	穂積 愛	隆 司
小 高	溝井 葵	章
岩法寺	大竹 翔也	和 久
竜 崎	會田 朋也	修 也
竜 崎	上野 亜綺	文 彦
南須釜	吉村 綾香	勝 二
北須釜	矢吹 賢也	今朝夫

おくやみ申し上げます

地 区	死亡者氏名	世帯主名
川 辺	熊田 シヅ	和 也
川 辺	鈴木 トモヨ	和 吉
川 辺	鈴木 喜代吉	和 孝
中	鈴木 ヨイネ	清 一
竜 崎	石井 好高	好 高
南須釜	大野 好雄	好 高
南須釜	小原 トヨ	政 徳
南須釜	谷 多敬雄	敬 徳
北須釜	榊 枝ヨ子	枝 徳
山小屋	石 森 常政	幸 次郎

広報への掲載を希望されない場合は、窓口への届け出の際にお申し出ください。

今月の納税

- 固定資産税 第2期分
 - 国民健康保険税 第4期分
 - 国民年金保険料 10月保険料
- 【納期限は10月25日水です。忘れずに納めましょう】

花愁短歌会玉川支部詠草集

一時期を流りしもの養豚業今は空き家に蜘蛛の巣の網
初夏を鳴く山うぐいすの甘い声撫でて吹き来る風薫るなり
小針 守次

ハンドルを握り訪ぬる友の家閉ざす雨戸に霧雨けぶる
小針みね子

風荒ぶ吹浦の浜に下りゆけば波華の舞う羅漢の岩に
小針 愛子

知恵を出し組み立てる夢のステーション児童の頬も紅潮の色
吉田 英祐

川田 吟庵

さるなし俳句会九月詠草

盆唄の卑猥に揺るる膺乳房
湯上りの五体清しき秋の風
由 記

はしゃぐ児の眼ひかりて盆明くる
華

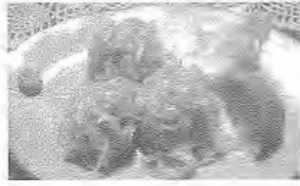
児の踊り見まね手ぶりの盆の月真知
真 知

逝く人の心残せる秋徹雨
仁 美

ピカチュウも踊り櫓も輝けり
美 枝

シリーズ ⑩

今日の食卓



今月のお題は

「おいしいシューマイを作しましょう」

今月は、福島県中地区食生活改善推進連絡協議会石川支部研修会で「骨粗鬆症予防料理」として紹介された「だんごシューマイ」をアレンジした一品を紹介します。

牛乳200ml 1本とスキムミルク18gに含まれるカルシウム量は、同じ量で200mg含まれています。牛乳の脂肪分をカットし粉末にしたものがスキムミルクでエネルギー量は、牛乳の半分で65kcalです。

是非お料理に活用してみてください。

『簡単シューマイ』

— 材料(6人分) —

- | | | | |
|----------|----------|-----------|-----------|
| ●豚ひき肉 | 450g | ●スキムミルク | 50g |
| ●むきエビ | 150g | ●さとう | 大さじ3/4 |
| ●玉ねぎ | 1個 | ●オイスターソース | 大さじ3/4 |
| ●片栗粉 | 大さじ4 1/2 | ●しょう油 | 大さじ 3/4 |
| ●シューマイの皮 | 2袋 | ●日本酒 | 大さじ 1 1/2 |
| ●酢じょう油 | 好みでつけ | ●塩 | 小さじ 3/4 |
| ●カラシ | 好んで食べる。 | ●しょうが汁 | 大さじ 1/2 |
| | | ●こしょう | 少々 |

— 作り方 —

- ①エビ～背わたをとり荒みじんに切る。玉ねぎ～みじんに切り・片栗粉をまぶす
- ②ひき肉に①を加え、Aを入れねばりが出るまでよくまぜ30分間に丸める。
- ③シューマイの皮はせん切りにし皿にひろげ②のだんごをころがし皮をつけ軽くにぎり丸める。
- ④蒸し器にクッキングシートを敷き③を並べ12～13分蒸し、でき上がり。酢醤油、辛子をつけて食べる。

関東三十六不動霊場の第十番札所
「田無山総持寺」



私のふるさと

— 東京都田無市 —

縫 明希子さん(南須釜)

西武新宿から西武線で約30分の田無市が、私の生まれ育った懐かしい故郷です。

田無の地名は小学校に入学した当時、祖父から「田んぼが無いから田無と言うんだよ」と教えられました。江戸時代は、田無宿と呼ばれ青梅街道唯一の宿場町で栄えた処で、私の幼い頃は沢山の商店と畑作農家が殆どでした。

養蚕と麦作で下校中には、機を織る音も聞こえよく道草をしたものでした。

昭和5年街の商店街に大火があり街の様子も一変しました。又先の戦争では駅付近に1トン爆弾が数発落ち大勢の犠牲者が出ました。

戦前は、森も川も緑も一杯ありましたが、高度成長の波に農家はたつた一軒のみ、皆宅地となり学校・工場各施設も増し、人口も7万5千人と膨らんで来ました。近く隣の保谷市と合併し田無という地名も西東京市と改名されます。2000年ミレニアムに故郷田無が西東京市に生まれ変わるとき、喜びと共に一抹の淋しさを覚える昨今です。

郷の弥栄を祈り乍ら：

東京玉川会コーナー



心に残る我がふるさと

『故郷は心の宝物』

東京都三鷹市

吉田和子さん

(小高出身・高原博司さんの娘)

玉川村の皆様こんにちは、毎月広報たまかわが届き、楽しく読ませて頂いています。

福島空港が出来、あぶくま高原道路が東北自動車道と直結されますと、私たちが帰省する時便利になってきます。私は村を離れて28年になります。今でも中学校の帰り校庭の前にある山に登り、友達と座り、春は菜の花、れんげ畑、秋は黄金色の稲穂と、夕陽に赤とんぼが空一面飛んでいるのを見ながら時の過ぎるのを忘れ話し込んでいたあの長閑な風景が今でも私の脳裏に焼きついております。

私は年2、3回帰省し、心身共にリフレッシュしています。その度村の様子が変わり随分便利になった事が実感ですが、水郡線は2両編成で昔のま

ま、通学にお世話になったローカル線は都会の焦りが無く計り知れない懐かしさが漂ってきます。

私も地元の会社に勤めて10年余になりますが、昼休み等話はずむのは故郷の想い出、四季折々の行事、野山の様子等、私は村に福島空港が出来たことも少しPRすると、都会育ちの人たちに、故郷を持っていることが羨ましがられます。

私はこんな玉川村、故郷は心の宝物にしております。

これからも玉川村の益々のご発展と繁栄を期待しております。



地域のコミセン祭の余興に参加(中良しグループとダンス)一番左端が私です